

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年12月1日

事業所名 コペルプラス青葉台教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・のびのびと活動できるよう、粗大を行うスペースには物を置かないように工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切である	3	1	・条例に基づいた人員配置を行っております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	・タイムタイマーを用いて、活動開始時間の見通しが立つようにしています。 ・お子様に応じて目に触れる場所に置く教材を変え、柔軟に対応しております。	・お子様に応じて随時工夫できるところがないか検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		・レッスン終了後に清掃の時間を設け、気持ち良く過ごせる空間作りを心掛けております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		・全職員でお子様のモニタリング、カンファレンスを行う時間を設けてより良い個別支援計画作成に向けて努めています。また、必要に応じて小まめにお子様の情報共有を行い、よりよい支援に繋がっています。	・今後も、職員全員が参加するカンファレンスや療育に関する改善・工夫の時間を一日の中に確保し、よりよい支援を提供できるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者向け評価でいただいたご意見は、職員全員で話し合い、よりよい教室となるよう、努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、職員全員で共有し、事業所としての自己評価を行い、よりよい教室となるよう、話し合った結果を公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	・定期的にコペル本部の評価や親会社(株)クロスプラス監査を実施していただいています。	・結果をもとに、より良い事業所になるよう業務の改善を行っていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	・法に順じた研修を行うと共に、の保護者対応の仕方等の定期	・確実に研修を実施できるよう時間を確保します。

					的な動画研修を実施していません。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		・支援計画の原案を作成前にアセスメント、保護者との面談を実施し、支援計画の作成を行っています。	・確実に実施できるよう Hug を有効に活用します。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	・コペルのアセスメントボックスの教材や発達段階観察シートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	・お子様の家庭や園での様子を伺いながら、日々の療育に生かすようにしています。	・必要に応じて積極的に園訪問等もご提案していきます。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	1	・個別支援計画の内容を全職員で把握した上で支援を行っております。また、Hug を用いて毎レッスン後目標に応じた評価を公開させて頂いております。	・日々小さなお子様の変化を情報共有し、より良い支援に繋げていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		・基本の活動プログラムは、コペル本部が作成しています。また、お子様に合わせて個別支援計画を全職員で検討しています。	・個別支援計画作成後も取り組みの様子を職員間で情報共有していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		・コペルプラスは、毎月教材が変わるシステムです。また、個別支援課題を、お子様に合わせて工夫して行います。	・保護者様と相談したり、職員で話し合ったりして、工夫しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		集団療育で、お子様に見つかった課題を、個別療育で補うことで、効果が高まります。	・お子様の発達段階や課題等に応じて集団活動と個別活動のご提案をさせていただきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		・朝礼で全職員に情報共有したり、前担当者から引継ぎを行ったりしてお子様の様子や保護者のニーズに合わせた支援を行うようにしています。	・伝え漏れがないよう、書面でも残すようにしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	・朝礼の中で全体で共有する内容がないかを確認する時間を設けるようにしています。	・レッスン後に記録を残し、次回の担当者が確認して入るようになっています。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	・毎回の療育後、HUG システムで、その日の療育内容や目標への取り組み・状況を評価して記入しています。	
	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		・モニタリングでは、職員とのカンファレンスや保護者との話し合いを定期的に行い、成長に合わせて目標設定をしています。	・モニタリングの内容は、記録し、個別ファイルに保管しております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	・必要に応じて療育センター等と電話のやりとりをしています。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		園訪問をご希望される場合は、実施し、保護者の方や園の先生とお話する機会を設定しています。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		
--	---	---	--	---	--	--

保護者への説明責任等	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		・フィードバック時にお話したり、レッスン中の時間を用いて相談支援を行う等を通して保護者の方と共通理解を図る場を設定しています。	・こちらからも積極的にお声掛けしていきます。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		3		・今後ペアレント・トレーニングを積極的に検討していきます。
	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		・契約時に、内容について説明し、理解・納得していただいた上で、署名押印していただいています。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		・丁寧に説明をさせていただき、納得していただいた上で、署名押印していただいています。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		・フィードバック時に話し合ったり、お子様の療育の時間に、保護者様と事業所内相談支援を行ったりして、保護者様の子育ての悩み等に対する助言と支援を行っています。また、必要に応じて職員全体で話し合いの場を設けさせて頂いております。	・こちらからも積極的にお声掛けしていき、お悩みの解決に繋げていきます。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援している		3		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1	・レッスン中にお声掛けさせていただいたり、LINEを活用してご相談頂いたりしております。その都度迅速丁寧にご対応させていただくよう心掛けております。	
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	・毎月コミレの様子を教室内に掲示し、発信させていただいております。また、毎日お知らせ等をLINEにて配信させて頂いております。	
⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	3		・個人情報書類に関しましては鍵のかかる書庫で管理させて頂いております。		

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		・お子様に応じて教材を選択し、より良い伝達の仕方を日々模索しながら支援させて頂いております。また、定期的に職員で話し合う場を設定しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		・マニュアルを策定し、職員に周知徹底をしています。また、保護者様には、契約時に説明しています。防災訓練には、お子様・保護者様にもご参加いただき、避難の仕方や避難場所などを説明させていただいております。	・今後も、皆様の安全のため、周知徹底していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	1	・アセスメントシートに記入していただき、気になる点は更に保護者に口頭でお伺いするようしております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・現段階では食べ物の提供はしておりません。アセスメントシートにアレルギーに関して記入していただいておりますので、小麦粉粘土、牛乳パック等を使用する際は事前に確認をさせて頂き、使用するようしております。	・食品を使う際は必ず医師の診断に応じた対応を行っていくようにする、
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	・ヒヤリハットが起こったら、内容を職員で共有し、改善策を話し合い、今後の支援に繋げるようしております。	・コベル本部や弊社全体に報告し、全体で共有しています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		・毎年研修を行い、職員間で意見交流をしながら理解を深めています。	・日々学んだことを意識しながら支援を行っていきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		・契約時に説明するとともに、了承を取り、書面に残しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。